

明治十八年十一月十六日內務省贈付修訂書

特41  
177



初學漢文作法卷之第二

埼玉 小高元張編述

段論孟ノ内二十項

原支第  
第二項 公治長篇

子謂公治長可妻也。雖在縲絏之中。非其罪也。以其子妻

謂ハ其人ニ向ツテイフニアラス。其人ヲ評スル時

ニ用フルナリ。即公治長ヲ評シテイフナリ。曰ハ口



ヨリ聲ヲ發シテモノヲ云フコトユヘ若モ曰ノ字ヲ  
 用フレハ公治長ト話スルコトニナルナリ言ノ字  
 ヲ用フレハ其意中ヲイ、キケル形道ノ字ハスガ  
 ミチヲタテ、云コト也云トカケハ以前ノ事ヲトキ  
 アカスキミニナルナリ同シイフナレモ皆異ナリ  
 注意スヘシ  
 也ノ字ハ決スル辭ニテキツトメアワスヘキナリ、  
 キツト其罪デハナイト云コトノ様ナル處ニハ必ス  
 也ト置子ハナラスナリ。

之ハツレガト訳ス、ノト訓スル片ハ當面ノ主タル  
 モノヲ立オキテ、其中ヨリ引ワケテ云片付ル字ナ  
 リ、縹緲ハ當面ノ主ニテワノウチニアリト、雖モト  
 云コトニナルユヘ、之字カアルナリ、若シモ雖在縹緲  
 中ノ之字ナケレハ、縹緲ノ中が當面ノ主ニナルナ  
 リ、又コレト訓スル片モ、全義ニテ上ノ文段ノ中ノ  
 物カ事カラ指テツレヲツレニナド云処ニ用ユ、又  
 ユクト訓スル時ハ明界ノ文字ナレトモ、助字ノ片  
 ハ明幽兩界ニ涉ルナリ、又之字人名ノ語助ニ用ル



「アリ」例庾公之斯孟コレハ庾公斯尹公斯ナルラ  
声ガツマリタル処ユヘ、少シ心ニユトリヲ持テ之  
ノ声ヲ扱ミタルナリ

之ニ妻スノ之ハ上下ノ文ニ指トコロアル片用フ  
ルナリ、即コ、テハ公治長ヲ指ナリ、指トコロナク  
用フルトモア

「是」ハ上ヲ受テ定ルコトバニテ是集義所生者ト  
云カ如シ「此」ハ彼ノ反ニテ專ラ事物ヲサス片用フ  
ルナリ、是ノ字ト義大ニ別ナリ、故ニコ、ハゼヒト  
モ之ノ字デナケレハナラヌナリ、

第二項同篇

赤也何如子曰赤也東帶立於朝可使與賓客言也。不知  
其仁也。

也ハ其一人ヲ指テ云フ時用フ「参」トイヘハ参ヨ  
ソナタハト只呼カケルナリ、凡人名ノ下ニ也字ヲ  
置ハミナ此例ナリ、

何如ハ赤ノ人がラハドフ云人ナルヤト云「ナリ」  
史記ニ孝惠曰曹參何如ト即曹參ハ相丞ニシテド  
フデアラフト云ニ同シ、若シモ「如何」ト書トキハ赤



ヲドフセフツト云フニナル、史記ニ公曰易牙如何ト、即チ易牙ヲ相ニシヤフカイカビヤト云カ如シ、  
若何トスレバドフシヤルソト云フニナル、何若トスレバドフ思ハル、ヤト云フニナル、譬ハ花見ニ行フカ、行マシキカ、イカビト自ラ云ハ如何ナリ、花見ニ行ナサルカ、行ナサラヌカト云ハ、若何ナリ、花見ニ行ヲナント思ハル、ヤト云ハ、何若ナリ、此池イカンノ字、區別多ケレ氏之ヲ畧ス、

於ハ体用ヲカ子テ、下ト上トハ係ルナリ、此場所ニ

カフアルト云意ナリ、即チ束帶ハ体ニテ、朝ニ立ハ

用ナリ、于ノ字ヲ用フレハ下ノ字ノ場所ノミヲス

エルフニナル、乎ヲ用フレハ用バカリニナリ、上ノ

字ノアリサマヲ語ルフニナル、例ヘハ友于兄弟、施

於有政論語トイヘハ、于ハ体ニテ於ハ体ト用トヲ兼

子タリ、期我乘中要我乎上宮詩經トイヘハ、假リ設ケ

テ形容シタルユヘ、乎ノ字ナリ、現在ナル明界ノ叙

事ナレハ于ナリ、之ニ用ヲ無スレハ於ナリ、過去未

来トモ幽界ノ形容ナレハ乎ノ字ト知ルヘシ、故ニ



コ、ハ是非於ノ字ニ限ルナリ

使ハ我ヨリア、セヨカウセヨト指揮シテ彼ニサ

セルナリ即賓客ト話シサセテモサシツカヘナ

イト云ナリ令ヲ用フレハマワリクテ彼ニカフナ

ラセルナリ使ハ体ニテ令ハ用ナリ例ヘハ使

使送令歸家世説役人ヲ送ラセテヤリウチヘ歸ル

ヤフニシカケルナリ遺ハヤリハナスト記シテ委

任スル辭ニテ指揮ヲセズヤリ放シテ勝手ニサセ

ルナリ教ハサフアラセルト記シ我ヨリ指揮スル

キミヲイ、陰ニテヒソカニスル意アルナリ遺ハ

体教ハ用ナリシムルノ字猶アレト畧ス

與ハソレニクミ合シテ見ルナリニテ赤ハ朝廷ニ立

テ賓客トクミアハストモト云フ氣味ナリヨリハ

ト訓スルモ同義ニナルナリ兼ナレハ主トスルモ

ノアルニ客ナルモノヲ兼ル意ニナルユヘ此ノ様

ナ処ヘハ用ヒラレス心フヘシ其他單ニトモニタ

メニト用ユルモ同義ニテ彼トクミ合テスル意也

言ノ字前項ニアリ



第三項雍也篇

子貢曰。如有博施於民而能濟衆。何如。可謂仁乎。子曰。何事於仁。必也聖乎。堯舜其猶病諸。

如ハ定マラサルコトハニテ万一ト云キミナリモ

シクハトヨメハ疑ノ辞トナル〔若〕字モ同シモシモ

サフカモシレ又ト云片ハ〔儻〕ヲ用フルナリ

博ハ手ヒロク行タケノアルヲ云〔廣〕トカケハトコ

マテモサシツカヘサルナリ〔弘〕ハクワロキノア

ルヲ云

能ハ手マヘニテ自由ニデキル所ヲ云ヨクアタワ

スト两点ニヨム片モ義ハ全シナリ〔耐〕字モ同義

也〔克〕トナレハ成シカタキ処ヲ、シオホセタルナリ

ナル也〔善〕トカケハ誰レが見テモヨキトイヘル程

ノ処ヲ云例ヘハ善書トハ外ヨリ云フナリ能書トハ

ソノ人ニナリテイフ、故ニ能ハ体善ハ用ナリ、

濟ハ無難ニ仕果テサセルナリ、民ノ難義ノ無キ様

ニシ果スト云キミナリ〔救〕トナレハ危急ナ所ヲ助

ケ、シノガストナリナリ



諸ハ之於ヲ合セタル意也之乎之乎ヲ合セタル意  
ノ場所ニモ假リ用ユ、体用ヲ具フル時ハ之於之乎之  
乎ト二字ヲ連用ス、輕ク用ノミヲ云トキハ、諸字ヲ  
用ユ乃チコ、ハ輕ク用ノミヲ云ヒシ也、假用ノ法  
例ヘハ望反諸禮記幽禮記六禮記コレハ之於ノ意山川其舍諸  
論語コレハ之乎ノ意ナリ、  
於何如第二項ニ詳ナリ  
乎ハゾヤト訳シ、呼ノ義ノ、深キニテ、人ニ云カケル  
辞ニテ、別ニ意味アルニ非ス、ソレ故上ノ支努ニテ

疑ノ意ニモ、決スル意ニモ、ナルコ、デハ仁ト申サ  
フカト疑ノ意ナリ、例ヘハ不亦說乎論語ハ悦ハシキ  
一テハナイカト決スル意ナリ、道惡乎莊子道ガド  
コニアルワト疑ノ辞ナリ、耶ハ半信半疑ノ辞ニテ  
ドフモワカラヌト訳シテ、アルカ、アルマイカトグ  
リ返シ言フ辞ニナルナリ、  
何ハワケガ知レヌト訳スル字ニテ、己レニ此度ミ  
トヌハナケレド、ナンテ仁トハカリヲ事トシヨウ  
ヤト、云意ニナルナリ、何字ハ都テ入クシテスヂノ



知レ又ヲ問フキミナリ、**奚**ハドウ云廻カヲト其モ  
トヲ推テ問ノ字ナリ、**奚**何ハヨク用フル字ナレト  
モ其別アリ、**奚**不ト置ケハトフイフワケデセズゾ  
ナリ、**何不**ハナゼカフセヌゾト云フニ、**胡**トカケハ  
ナセニト訳シウロシニテ分ラヌ、ガテンノユカヌ  
所ヲ指スナリ、

也。ハコレハカフ云コト、條理ヲ示ス辭ニテ、必聖  
タルスガデアラフゾト云ナリ、第二項見合ヘシ、  
其ハソノ方ヲ指テ云ナリコト、ハ即聖ヲ指ナリ、其

ト夫トノ別ハ、其ハ一物一身一事ヲ指シ、夫ハヒロ  
ク何モカモヲ包容シテイフナリ、**夫以**ミレハト、イ  
ヘハ夫ノ字ソノ全文ニカケルナリ

猶ハカサ子テノ意ニシテ俗ニ云マダナリ、**尚**ハマ  
ダソノウヘト云キミニナル、**仍**ハシキリニト云意  
ニナルナリ

第四項子罕篇

子貢曰、有美玉於斯、韞匱而藏、諸求善賈而沽、諸子曰、沽  
之哉、沽之哉、我待買者也。



注  
斯ハコノスガト訳シ今コ、ニ美玉カアツタナテ  
ハナリ **茲**ノ字ヲ用フルレハ玉ガ、**ニ確**ニアル  
ト云フニナルナリ

韜ハ、ハコノ中へ大切ニツ、ミオサムル意 **藏**ハ倉  
ヘイレテ人ノシラヌヤフニシテオク意ナリヒツ  
ニ **納**ムトカケハ外ヨリ来ルモノヲウケイレル  
ニナル **收**トカケハ外ニアルモノヲオサメ取テ内  
ノモノニスルニナルナリ、

而ハサフシテ、ソレカラト訳ス、而ハ素ト髣字ニテ、

獸ノ毛髮ノ掩ヒカ、リタル貌ヲ云字ナリ、上ヲ持  
シテ段ヲ一段ユス所ノ語助ナリ、既往ト、現今ノサ  
カヒ、又現今ト、将来トノサカヒ、皆而ノ字ヲ置キ接  
續スルナリ、箱ニ入テソレカラ倉ニシマフヘキカ、  
又イ、アタヒヲモトメテ、ソレカラウラフカト云  
ナリ、而字ナケレハ箱ニ入レテ倉ニ入レル、入レタ  
トナル、例へハ喟然而歎トアルハ、先喟然ト息ヲツ  
キサテソレカラ歎息ヲ發スルナリ、喟然トメ歎ト、  
而字ナケレハ現在ノアリサマヲ寫シタルノミニ



ナル凡ソステ假名テ讀テ而字ヲ置サルハ皆一ト  
ツ、キノ語ニテ、サカヒメノ立又所、明界ツ場所々  
ルナリ、諸ノ字第三項ニアリ

求ハ其所ニツイテ引出サント、思フテ、ソレヲモト  
メルト、**需**ハコレカナケレハナラヌト、マキテヨル  
キミ**索**ハ其中カラサガシダスト、**要**ハサヘギリモ  
トメテオソシトマツキミ**干**ハナリカタキトヲム  
リニカフセントモトムルト、故ニユ、ハ求ノ字テ  
無レハナラヌナリ

沽ハアタヒヲトリテ小賣スルト、**賣**ハアタヒト引  
カヘニ手ヲ交シスルト市ニテウリカヒスルナリ  
**售**ハ全物ヲウルト

**識**ハキツト、誤シ、ハジメト訓ジテ、コレカラ切分  
ケテ、今ヲハジメトスル意ナリ、哉生明ノ類ナリ、助  
字ニ用ユルモ、大哉トイヘハ、外ノ小ナル者ヲオシ  
ノケユレヲ大ナルノ**能**トシテ、コレハ、サテモ、  
ト、一段意ヲ加ヘ推切テイフナリ、

我ハ人ニ對シオノレヲ、拙者ト云フ、又ヒロクサス



コトハニ云、ワカ國トイヘハ、我ノ字ナリ、コノ我  
 ハ、賣トモク、シカシ拙者ハ、買ヲ待者ジヤ、之ヲ求メ  
 ハシナイト云ナリ、**吾**ハ我ト同シク少シ異ナリ、莊  
 子ニ吾、忘我トアリ、吾ハ本心ノワレニテ、我ハ彼我  
 ノワレナリ、ワカ身トカ、ワレ不韋ニシテトカ、云フ  
 時ハ吾ナリ、**余**ハワレラト云フ、ワレ一分ニカギル  
 ナリ、**予**ハ俗ニイフオレト云フニアタルナリ

第五項孟子梁惠王上篇

梁惠王曰、寡人之於國也、盡心焉耳矣。河內凶、則移其民、

於河東、移其粟於河內、河東凶、亦然。察鄰國之政、無如寡  
 人之用心者、鄰國之民不加少、寡人之民不加多、何也。

盡ハ底ヲタ、キテ一ツモ、コサヌ<sup>一</sup>ナリ、**悉**ハ一  
 カラナマテノコサヌ<sup>一</sup>**竭**ハ十分ニシツクス<sup>一</sup>ニ  
 ナルナリ

心ハ神明ノ舍ニシテ衆理ヲナフノ体アリトテ、  
 ワシガ國ヲ治ムルニハ、本心ヲツクシテオルト云  
**一**意ハ心ヨリイデ、カクアラフト思フトコロヲ  
 云ナリ、大學ノ**意誠**而后心正ニテモ知ルヘシ



馬ハサフアルトコロニト訳ス、馬ハモト鳥ノ名ニ  
 テ、鷲ノ類ナリ、鷲飛戾天ト云テ飛上ルキミアル之、  
 夫故助字ニ用ル時モ、ソレノ所ニナド云意味ニテ、  
 上ノ文ノ事カラノ其地位ヘモドリテ、下ノ文意ヲ  
 其処ヘ持越シテ、ソコニスヘテカフデアルト云意  
 ニテ、即心ヲ國ニツクスハカリナリト云フニナル  
 古人モ馬字意揚ルト註セリ、我國ニテハ從來焉矣  
 等ノ字ハヨマ又故氣ガツカヌコトアレ、助語ヲ  
 用フル皆入用ナラサルハナシ、シカシ唐ノ代ニテ

ステ間違シテアルトミヘ、柳子厚ガ杜温夫ニ與フ  
 ル書ニ、也矣焉ノ用ヒ方ヲ誤リタル由見ヘタリ、初  
 學ノ解シカタキ、又ムヘナラスヤ、

耳ハ而止ヲ合セタルニテ、コレギリジヤト云意味  
 ナリ、爾ハカフデアルト云意ナリ、禮記ニ祭祀之禮  
 主人自盡焉爾ト、重ク云タルナリ、  
 已ハモフソレギ

リト埒ヲ付テ云辞ナリ、左傳哀ニ後雖悔之不可食  
 已ト、後悔シテモ、モフソレギリケス、ハナラヌト  
 云意ナリ、而已ト而字ヲ加レハ、一段コシテ、サフシ



タアトデソレギリト云フニナルナリ

矣。ハカフアリタ、カフアラフト訳シ、幽界ノ心識ニ

テカヤウナルヘシト、定メテ云出ス辞ナリ、凡他ノ

助字ハ、明幽兩界ニ涉ル字多クアレ、凡矣字ハカリ

ハ明界ニハ少シモ係ラズ、見在ノ場所ニハ用ヒヌ

字ナリ、例ヘハ寢門闕矣左傳ト、コレハ先刻ヒラケ

アツタナリ、若モ今見ル前ニヒラケタルナラ、矣ノ

字ナクシテ可ナリ、至則行矣論語ト、アルモ今サリタ

ルニ非ス、既ニサリテアリシトナリ、故ニ昔ヨリ置

字ニシテ和訓ナキト尤ナリ、我國古人ノ始テ和訓

ヲ附ラレシ人々、意象精密ニシテ、文法ニ審カナル

ト分毫モ~~事~~ガハヌハ、コレニテモ知ル、ナリ、今コ

ノニ耳。矣トセルハ心ヲ~~國~~ニツクスバカリデアリ

シゾト定メタル、意ヲ重ク云タルナリ、

則ハトキンハ又ハソレニシテミレハト訳シテ、幽

界ニ屬スル字ナリ、コ、ハ河内ノ地ガ飢饉ナル片ハ

ト云意ナリ、モシモ~~即~~字ヲ用フレハ、ギキニト云意

ニテ現在ニナル、乃ハイマシト訓シ、ソコヲトモ訳



シ過去ヨリ現在ニ出ル猶豫ノ間ニテ、上ノ文段ヲ  
 下ノ語ニツナキ附ケル安排ナリ。[廻]ハ乃ト同シ。便  
 ハテバヤクト訳ス、漢書班超傳若不[即]降、便可執之、  
 トアルニテモ明カナリ。[輒]ハタヤスクト訓シテ、イ  
 ツテモサフナル時ハ必ソレニ付テマワル意ナリ、  
 輒ト乃トハ辞緩ナリ、即ト便トハ辞急ナリ、  
 亦ハモマタトテコレモマタト云意ナリ、河東カ凶  
 ナレハコレモマタヤツハリ河内ノヤフニスル之  
 亦ノ字置方ニヨリ意味相違ス、不亦難トイヘハ反

語ニテムツカシイト云フニナル、亦不難トイヘハ  
 ムツカシクナリ、還ハメグリキテマタノマタ  
 ヒトツト云トキ用フルナリ、  
 察ハトツクリト氣ヲ附ケ、眼ヲソレニ付ケテミル  
 ナリ、外ノミルト云字テハイカヌナリ、

第六項全篇

孟子對曰、王好戰、請以戰喻、填然鼓之、兵及既、接棄甲曳  
 兵而走、或百步而後止、或五十步而後止、以五十步笑百  
 步、則何如、曰、不可、直不百步耳、是亦走也、曰、王如知此、則



無望民之多於鄰國也

對ハキツト改マリテコタユルニテ、一國ノ位アル

王ニ向テノコタヘエニ、對字ヲ用ヒタルニテ、全

等ノ人ノ問ヒニコタユル片ハ、**答**字テナクテハナ

ラ又ナリ、**應**ハコチラノヒツキニ向フモ付イテヒ

ビク様ナ氣味ニ用ユ、即チ將**應**之曰燕可伐孟トア

ルニテモ知レルナリ

戰ハ打チタ、キ合フニテ、タトヘハ敵國ヲ誅伐

セントシテ、整々堂々ノ陣ヲ張り、敵味方トモ打チ

タ、キ合フニ用ユ、人ノ強弱ヲ競ヒ、或ハ禽獸ノ

争ヒナゾニハ、**闘**字ヲ用ユルナリ

請ハドウゾロカル様ニ聞カセヨウト云フ心ナリ、

**乞**ハドウゾカウナサレテ下サレト、願フ氣味ナリ

喩ハ合点ノ行クヨウニ説キ聞カスナリ、**譬**トナ

レハ此ヲ以テ彼ニヒキクラヘミル意ニテ、コノ如

キ所ニハ用ヒラレ又ナリ

既ハサフアリタウヘト訊シ、將字ノ反ニテ、其事ノ

終リタル迹ヲミテ云フ、辭ニテ体ニ属ス、**已**ハモフ



又モハヤト訊ス、未ノ及ニテ、ハヤモフソウナリシ  
ナリ、月巳望トイヘハ十五夜ナリ、月既望ハ十六  
夜ニナルナリ、業トカケハモハヤ跡ヘ引レヌト云  
フニテ、ユキコンテノ意ナリ

接ハ其モノ、側ヘ出ルフニテ、兵又カコ、カシコ  
ニ入り乱レシヲ云、交ヲ用ユレハ、夕ガヒチガヒト  
訊シ、人間ノ交リナトノフニテ、晏平仲善與人交論語  
ト、アルニテモ明ラカナリ、錯ハ物ノ入りクムフ參  
ハ一ツアル物ノ上ヘサシ加ユル意ナリ

棄ハ不用ナモノニスルフニテ、捐ハコ、ニアルモ  
ノヲ外ヘモチ出ス氣味ニナルナリ

曳ハヒキツルフニテ、引トカケハヒキツ、ク意之  
牽ハヒツハル氣味ノ所ニ用ユ

或ハアルフノ一ツニ定マラヌ意ニテ、大勢ノ内モ  
シモ兵又ヲ棄テ走ルモノガアレハト、疑ヲカケテ  
云フナリ、モシクハト訓スルモ、タシカニ定リタル  
ニハアラネズ、時ニヨリテアル片ハト云氣味之、又  
用ヒ方ニヨリテ莫之、或止ト置ケハ、之字ガ活動ス



レ氏、莫或之止トスレハ或字カ活動ス或默或言馬史記  
始皇ト累用スルトモアリ、其他用ヒ様ハカワレ氏其  
本紀

義ハ全シトニナルナリ

止ハ外ヘ動カズ行キトマルヲ云、又語尾ニ用ユル

トキハ意ヲ其地位ニトメテ云フ氣味ニナルナリ

留トスレハ先キヘ行クヘキモノヲ抑ヘテオク

ニナルナリ停ハ行クモノ、足ヲトムルヲ云、其外

ニトマルノ字多ケレ氏畧ス

何如第二項ニアリ

直ハイリクミナシニスツト其段ニ段ヲ据ル意ニ

テ、ズツト百歩マテモ走ラサルマテニテヤハリ走

リシモノダト云コトナリ唯ハバツカリト訳シ、一

途ニ其トバカリニカシコマル意ナリ、モト唯諾ノ

唯ヨリ轉用シタルナリ惟字ハオモフト訓シテ一

途ニコレバカリオモフ意ニテ、同音ナルユヘ通シ

テ用ユ但ハ幾個モアル中ニテ外ノモノヲノケオ

キテ言フ、但シト訓シテモ全義ナリ童ニナレハソ

レノミト訳シ、ソレニツキテアルモノニテ、マタ先



キノアル意ナリ。帝字ハ敢テ專用スルヲナシ、或ハ  
不帝何帝異帝豈帝ナト、用ユ、其他タツノ字多シ、  
其時ニノゾミトクト注意スヘキナリ、

是ハ上ヲ受テ定ルコトハニテ、百歩デナキマテニ  
テ、コレトテモニゲル訳ジヤト云フナリ、コレノ字  
ソ區別第一項ニアリ。○亦字第五項ニ詳ナリ

望ハ鄰國トミ合セテ、民ノ數多ナルヲノゾンテハ  
ナラヌト云フニテ、兩方見合セトスル字義ナリ、故  
ニコノ如キ場所ニハ、外ノノゾムト云フ字ハツカ

ヘヌ之臨トナレハソノ場ヘ行キカ、ルヲ眺ハヨ  
クナカメテ、ミワケルヲニナルナリ、

第七項同篇

不違農時、穀不可勝食也、數罟不入汚池、魚鼈不可勝食  
也、斧斤以時入山林、材木不可勝用也、穀與魚鼈不可勝  
食、材木不可勝用、是使民養生喪死無憾也、養生喪死無  
憾、王道之始也

違ハ筋チカヒニ脇ノ方ヘ行クヲニテ、不違トハ春  
耕夏耘秋收ノ時節ニ上ニテ土木興作等ノヲガア



リテモ、冬ヲ待テ後スルユヘ時ヲタカヘヌト云  
ナリ、**差**ハクヒチガヒノ出来タルニテ、**若**差毫厘  
謬以千里禮記トアルカ如シ

勝ハクラヘテ見テ其上ヘ尚フル意ニテ、五穀ヤ材  
木カ多クテ、何レモ食ヒ尽ス<sub>一</sub>モ出来ズ、用ヒ尽ス  
<sub>一</sub>モ出来ヌト云<sub>一</sub>ナリ、又タユルト訓スルキモ、全  
義ナリ、**舉**ト書ケハ上ヘ上ケテ見セル<sub>一</sub>ニトルナ  
リ、**枚**擧ニ違マアラズノ類ナリ

是ハ前項ニアリ、與使ハ第二項ニアリ

憾ハコレダケガ足ラヌト思フ氣味ナリ、コ、ニコ  
レ、丈ケト云フアタリノ無キ片ハ、**恨**字テナクテハ  
ナラヌナリ、**怨**字ハ心ノ内ニ意趣ノ残ルナリ

始ハ終ノ反ニテ、事ヲ仕ハジムルヲ云、即王道ノ仕

始メ<sub>レ</sub>、**初**トナレハ後ニ對シテ其最初ノコクチヲ

云、始ハ用ニテ我ナリ、**初**ハ体ニテ彼ナリ、例ヘハ季

文子**初**聘于齊左傳トアルハ、彼、齊侯ニ於テノハジ

メナリ、鄭子來朝、始朝公也左傳トアルハ、我魯侯ニ

於テノハジメナリ、**初**獻六羽、始用六佾也左傳トア



レハ、マギラワシキ様ナレト、初ハ、厩ノ一ヲ指シテ  
云、始ハ用ユル人ニナリテ云、一ニナルナリ、**肇**トカ  
ケハ、屯然トシテ開ケカ、ルハジメニナル、**甫**トカ  
ケハ、本トナリテ末ヲ生スル意味ナリ、

第八項同篇

五畝之宅、樹之以桑、五十者可以衣帛矣。雞豚狗彘之畜、  
無失其時、七十者可以食肉矣。百畝之田、勿奪其時、數口  
之家、可以無饑矣。謹庠序之教、申之以孝弟之義、頌白者  
不負戴於道路矣。七十者衣帛食肉、黎民不饑不寒、然而

不王者、未之有也。

樹。ハウヘツケル、一ニテ**植**。ハウエカタムカ又ヨウ

ニスルナリ。○矣。ハ第五項ニアリ

勿。ハサフハスルナト沮メル辞ナリ、ナシト訓スル  
時モ、慎ンテナクスル意味ナリ、通シテ没ニ作ルモ  
アリ、**母**トカケハナイ、一ニシテアルト訳シ、幽界ニ  
ノミ係ル字ナリ、ナシト訓スル時ハ過去ノナシナ  
リ、ナカレト訓スレハ未来ノナカレナリ、**莫**ハ適ノ  
反ニテ有ルカト尋テ見ヨナイト云意ナリ、一段コ



漢文 卷之二  
ミ入テ深ク幽界ノ奥ヲ云字ニテ、字義深重ナル故  
ニ句頭ニアリテハ、ナカラシヤト讀ミテ及語トナ  
ルコトアリ、後世ノ詩語俗語ニナカレトヨムハ、ナカ  
ランヤノ轉シタルナリ、ナカラシヤアルマイモノ  
デモナイト云フニテ、古書ニモ禁止ノ辭ニ用ユル  
ノ例ナシ、**無**ハ有ノ及ニテ、ソノ所ニ物ノナキヲ語  
ル辭ナリ、神用ニテ現在ノコトニ係ル**勿**、**毋**、**無**何レモ  
ナシナカレト訓シテ、用ユルニ迷フ様ナレバ、畧ボ  
其意ヲ解キ明カセハ、**勿**ハスルナト命令スル辭、**毋**  
ハ將來ニナキコトニセヨト云意、**無**ハ有ルカナキカ  
ノ吟味ナリ、例ヘハ、**勿**、**憚**、**改**、**毋**、**或**、**奪**、**無**、**不**、**見**、**ハ**、**如**、**シ**  
**慎**ナレハ内バニシテ井ル心モチニナル**敬**ナレハ  
其事ニ注意シテ、ウツカリトセ又コト、古人注シテ主  
一無適之謂ト云ヘルニテモ知ルヘシ、其他ツ、**シ**  
**ム**ノ字多シ畧ス

申ハ丁寧及復シテ念ヲ入ル、ナリ、**重**ナレハ一度  
トナク何ベンモト云意味ナリ、**復**ハ以單攻**復**、魏志ト  
アリテ二重ニナルヲ云、故ニ此ノ如キ所ニハ申テ



ナケネバナラヌナリ○於○矣○勿○皆前ニアリ

然ハサフテアルト訳ス、即燃字ニテ火ノ物形ニシ

タガフテモエテアル処ヲ云字ニテ上ノ文意ヲ承

ケテサフテアルト云意ナリ、然リ而メハサフナツテ

アルニソノアトデノ氣味之、又下句ノ頭ニ在テ然

則ノ如キハ上ノ文意ヲ兼ルナリ、凡テ句頭ニアレハ

今マテ云タル語ヲ尤ナリト承テ、次ニ意見ヲ云出

スナリ爾然ノ別ハ爾ハカフテアルト其物ノ内ニ

ツキテ云然ハサフテアルト外ヨリ云故ニ爾ハ我

然ハ彼ナリ而後然後爾後ト用ユレバ全シノ様

ナレ氏、而後ハサフアツタアトテト云意、然後ハサ

フアルウヘト云意、爾後ハカフアツテカラトナル

ナリ

未ハマダナラスト訳シ、已ニノ及ニテ其事ノマダサ

フナラヌトニテイマダアラズト反シヨム字ナリ、

不ハサセスト云トニテ其人ニナリテイフ辞ナリ、

故ニ不仁不義或不可食不欲食ト云フ如ク、イツニ

テモ下ノ字ヲワガニシテ活シテ見ル所デナケレ



ハ用ヒラレヌナリ

第九項同篇

狗彘食人食而不知檢。塗有餓殍而不知發。人死則曰非我也。歲也是何異於刺人而殺之。曰非我也。兵也。王無罪。歲斯天下之民至焉。

食ハ口ノ中へ入レテ、クラフフヲ云フ 食トカケハ、

サツト夜食ナドヲクラフフニナル之、其他クロフ

ノ字多ケレ、凡畧ス、人ノ食ノ食ハ去聲ニテシト云

音ニナリ、即チクセ物ト云フナリ

穀ハ口ヲアケルフニテ、コ、ハ倉廩ノ口ヲアケテ

米穀ヲ出シ窮民ヲ賑恤セサルト云フ 開トナレ

ハ中マデ見ヘワタルト云フニナルニ

我ハ人ガスルコトニテ、オレガサフスルワケデハ

ナイト云フフニナル且上ノ人ト云フ字ニハリ合

セテ我ト云ヒタルニテ、凡テ向フノ人ニハリ合セ

タル所ノワレナリ、其他ワレノ字ノ區別前ニアリ

○是○何○於○斯○焉○皆前ニ在リ

第十項梁惠王下篇



孟子謂齊宣王曰、王之臣有託其妻子於其友而之楚遊者、比其反也、則凍餒其妻子、則如之何。王曰、棄之曰、士師不能治士、則如之何。王曰、已之曰、四境之內不治、則如之何。王顧左右而言他。

之ハユクド訓スル片ハ、此ヨリ彼へ移ルスギヲ云字ニテ、明界ノ文字ナリ、齊ヨリ楚へ移リ行テ遊フモノト云フナリ、助字ノ時ハ記者ノ心識ヲ其方へユカシメ、其理ヲ指シ言フ辞ニテ、明幽兩界ニ涉ルナリ、之ト用ユル時ノ義ハ前ニ詳ナリ、歩行テユク

コトヲ云フニハ行字ナリ、適ナレハ真正面ニムカヒユクフナリ、**往**ハ**无**往不復易トアリテソノユキ所ヲ過テシマフ**逝**ハセングリクトユクフニナルナリ

比ハ其時頃ヲツケテミル意ニテ、丁度齊ニ歸テ來タ時ト云フ心持ナリ、**及**トカケハ、此ヨリ彼ニツキツケテ云辞トナルナリ

反ハアチラコチラニト譯シ、真ウラニナルフナリ、故ニカエルト云フトニナル、



如之何ハソレヲドフシヨフゾト云フニテ之ノ字  
 上文ノ友又ハ士師ヲ指シテソレヲイカバイタサ  
 フズイカンセント問ヒツメルナリ此他イカン  
 ノ例次項ニアリ見合スヘシ

第十一項同篇

孟子見齊宣王曰爲巨室則必使工師求大木工師得大  
 木則王喜以爲能勝其任也匠人斲而小之則王怒以爲  
 不勝其任矣夫人幼而學之壯而欲行之王曰姑舍女所  
 學而從我則何如今有璞玉於此雖萬鎰必使玉人彫琢

之至於治國家則曰姑舍女所學而從我則何以異於教  
 玉人彫琢玉哉

爲ハ仕事ヲスルニテ巨室ヲコシラヘルトキニ  
 ト云フ氣味ナスト訓スルモ同義ナリ造トカケハ  
 ワサクコシラヘルナリ作ハ事ヲシオコシ又ハ  
 コシラヘ出ス又ナスト訓スルモ義ハ全シト  
 使○求○勝ハ前ニアリ

喜ハ心カラウレシキナリ悦ハ氣ノ感ノウレシ  
 キトニナルナリ欣トカケハ氣ノウキ立ツ様ナル



氣味ナリ **怡**ハ外ヨリウレシク見ユルトニ用ルニ  
 斬ハ跡ニモノ、ノコラスヤウニケヅルト之 **刪**ト  
 ナレハ一ツ出来タモノヲ仕直ス **刊**ハ隨山刊木  
 經書トアツテホリトルトナリ **削**ハシノギヲケヅル  
 ト云意ニ用ユルナリ、其外ケツルノ字多ケレ凡皆  
 自カラ意味カ違フナリ心スヘシ、

姑ハ先ツチヨツトノ間ナンヂノ學フ所ヲ止メテ  
 ト云トニテ、マアクチヨツトノマイダヲ待テト云  
 意ハ薄ハ薄言還歸 詩經 召南トアツテ、今ニハシト云氣

味ナリ **少**ハスコレノマヲ云  
 舍ハシテ井ルコトヲヤメニスルナリ **置**トカケハ

久レクソノ所ニオクトニナル **寘**トカケハチヨツ  
 トソコニオクト云トニナルナリ

女ハ汝トカクモ全レトニテ貴様ト云ホドノトニ  
 テ、人ニ別ケテ云キミ之、汝ヨリ一階卑キ稱ニハ **若**

字ヲ用ユル **爾**ハソノ方ノ身分ト云フ氣味ヲカ  
 ケテ云フトニナル之

後ハソノスヂガラト認シ、我シテユク路スヂニツ

漢文 卷之三 六



井テコイト云一ニナルナリヨリト訓スルモ全義  
 二天其用法例へハ京都カラ東京へユクニハ東海  
 道ヨリスルカ中山道ヨリ行カトイフ片ハ從ノ字  
 ナリ京都カラ東京ト向フニ對シテアタリヲトル

第十二項同篇

滕文公問曰滕小國也竭カ以事大國則不得免焉如之  
 何則可孟子對曰昔者大王居邠狄人侵之車之以皮幣  
 不得免焉事之以犬馬不得免焉事之以珠玉不得免焉  
 乃屬其耆老而告之曰狄人之所欲者吾土地也吾聞之

也君子不以其所以養人者害人二三子何患乎無君我  
 將去之去邠踰梁山邑于岐山之下居焉

竭ハアルタケノカラ打出シテ大國ニツカユルト  
 云一ツクスノ字前ニ詳カナリ見合スヘシ

焉○如之何○則皆前ニ詳ナリ

屬ハ段ヤトツバキアツマル一ニテ其トシヨリヲ

アチラコチラカラツバキアツメルト云意也

集ナ

レハ其所ヲ落ツキニシテ集ル一ニナルナリ

患ハナシニ思フト云義ニテ向フカラ別ノモノ



が来テ身ニ引カ、リテ身ウゴキガナラヌトイフ  
様ナル意味ガナケネハ用ヒラレヌナリ、即二三子  
何ソ此地ニ君カ無イトテ、其身ニ難義ダト思フナ  
ト云意之憂ハ心ノ中ニアンジ苦ニスルヲニナルナ  
リ

将ハシカ、ルト譯シ既ノ反ナリ、ヒキユルト訓シ  
テ引ツレテ持テ行ク意ナリ、ハタト訓スルモ全義  
ナリ且トカケハマアト記シチヨツト其ヲニシテ  
見ル意ニテ、行カ、リ指豫ノナキ地位ナリ、将且ノ

別ライハハ将ハヤガテシカ、ル所ニテ緩也、且ハ  
既ニカ、リタル所ノサシツメニテ急ナリ、例ヘハ  
将行ト用ユレハソロク行ク支度ラスルヲニテ、且  
行トカケハ、直ニ足ヲ舉ルヲニナルナリ

踰ハ一段マタケテコユルヲニテ、梁山ヲ一段マタ  
ギコスヲナリ、越躐ノ字モ全意ニテ、逾トナレハ飛  
越ス氣味ナリ。○予○焉ノ字前ニアリ

第十三項公孫丑上篇

孟子曰、以力假仁者霸、霸必有、大國、以德、行仁者王、王不



待大湯以七十里文王以百里以力服人者非心服也力  
不贍也以德服人者中心悅而誠服也如七十子之服孔  
子也詩曰自西自東自南自北無思不服此之謂也

假ハ真ノ反之實ハナキナレ先ツカリニ斯ク  
スルト云フニテ當坐ノ間ニ合スト云フキモア  
リ即チ下ノ行ノ及ニテ仁ノ名ヲ當坐カリテ居ル  
ト云フナリ借字ニナレハツレヲカリテ使フキミ  
ニナルナリ

有ハ無ニ對シテ實ヲ示ス辭ニテ凡テ其物ニツキ

テイフ字ナリタモツト訓スルハ自分ノモノデナ  
カツタ國カ自分ノモノデアルト云フナリ保ハナ  
レハヤスンズルマモルト訓スル字ニテソノ固有  
ノ國ヲ保護シテユク意味ニナルナリ

贍ハタツフリトシタルニテ不贍トハ方が十分  
ニタラヌト云フニナルナリ足ハ事ノカケ又フ百姓  
足則君孰不足論語トアルヲ見テモ明ラカナリ

誠ハドコマデモトフリテカワラズツヅクヲ云真  
ハウブノマナルトニテ假ノ反ナリ實ハ内ニ持



テアル処ヲ云虚ノ反也凡ハイカニモト譯シ、ユル  
スト云字ニテ、衆人が見テイカニモチガワヌトス  
ル所ナリ諒ハ我心ヲ人ニ通シ知ラシムルナリ、其  
他マコトノ字多ケレ凡畧ス  
此之謂也詩ニ曰テアルノハ、コレノコトヲ名ツケ  
テ云々、夕モノジヤト云フ也

第十四項同篇

孟子曰、人皆有不忍人之心、先王有不忍人之心、斯有不  
忍人之政矣、以不忍人之心、行不忍人之政、治天下可運

之掌上、所以謂人皆有不忍人之心者、今人乍見孺子將  
入於井、皆有怵惕惻隱之心、非所以內交於孺子之父母  
也、非所以要譽於鄉黨朋友也、非惡其聲而然也

運ハ引マワス意ニテ、天下ヲ治ムルノ容易ナル  
トハ物ヲ掌ノ上ニテ引キマワス様ダト云フ也巡  
トカケハ巡將者巡所守也孟子トアリテソレカラソ  
レヘトマワリユクナリ旋トナレハキリク引マワス  
ヲ云轉ハワキヘメグラスト云ナリ、其外ニメグ  
ラスノ字アレ凡畧ス



乍。ハヒラリト訊シ、ヒラノトカワル間ヲ云ナリ。忽トナレハフツト、云意ニテ。倏ハチヨイト、云フ  
一ニナルナリ

見。ハ目ニチツト觸ルヲ云フニテ腹ニ怒タフが面ニチヨツト見ヘタト云フ之。視トカケハ心ヲ留メ  
テミトミルフ。觀ハツトノコラズミル意味之

看。ハ手ヲカガシテナガメ入ルキミニテ、日月ナドヲ見ルニ用ユ、其他ミルノ字多クレ厄畧マ

窮。ハ行ツマリテサシツカヘル一。日ガナ一日行キ

ツメルト云意之。極トナレハトントノ果ニテ行キ

方ノナキ一ニナル。究トナレハ行ケル所マテ行キ

ミル一ナリ。究其所窮。左傳トアルニテモ明カ之

聞。ハ声ノ耳ノ中へ入ル一。都テ手近クキク一。又ハ

フイトキク一ナツニ用ユ。聽トカケハ耳ヲツケテ

キク一ニテ、能ク念ヲ入レテキク一ナリ。聽而不聞

大トアルヲ以テ聞聽字ノ別ヲ知ルヘシ

内。ハ外ノ物ヲコキラヘ引入ル、一ニテコキラカ

ラ孺子ノ父母へ交リヲ引キ入レヨウトスルワケ

漢文 卷之二



テハ、ナイト云意ナリ。容ハユトリノアリテユルノ  
入ルヲ云入トナレハワキカライレタノヲ見タル  
所デ云フナリ

要ハナケレハナラヌト云フキミニテ、譽レヲ郷黨  
朋友カラ是非トモトメネハナラヌト云フワケ  
デハナイト云フナリ。求ハツレガ出テクル様ニシテ、  
コチラニモツテマツ氣味ヲ云前ニクワシ  
由。是觀之前ニ詳カナリ

第十五項 前項ノ發キ

惻隱之心仁之端也、羞惡之心義之端也、辭讓之心禮之  
端也、是非之心智之端也。人之有是四端也、猶其有四體  
也。有是四端而自謂不能者、自賊者也。謂其君不能者、賊  
其君者也。凡有四端於我者、知皆擴而充之矣。若火之始  
然、泉之始達、苟能充之、足以保四海。苟不充之、不足以事  
父母。

賊ハ害ニナルコトニテ自身ニソコナフコトナリ。害ト  
カケハキズヲウケルコトニナルナリ。戕ハ無慙ニソ  
コナフナリ



横ハ横ト全字ニテ一パイニオシヒロメミツル意ナリ

充ハ物ノアヒテアル処へ一パイニツマルナリ

盈ナレハシキリノ処マテ引ワタツテ一パイニナツタナリ

若ハワノヤウナト訳シ向フノモノ、様子ニ付テ

見テワノ用ヲ云辭ニシタカフト訓シテモ向フノ

様ニ付テユクナリ如ハワノトフサト訳シ向フノ

モノニ對シクラベテ其体ヲイフ辭ナリユクト訓

スル片ハ此方ニテユク先キへ對シ此方ノ出タル

処ヲ見テ云字ニ故ニ若ハ用ナリ其内ニテ彼カ其

ヤウニナツテアルナリ如ハ体ニテ外ニ相手ヲトリ

タトヘテ我ヨリ比シクラベテワノトフリトスル

ナリ若ハ心ニツキ云フ如ハ物ニツキイフ例へハ

不若ハ其ヤウナ様子トハセラレヌ不如ハ其トフ

リニユクトハセラレヌト云フニナルニ又翁如皦

如ナゾト用ユルハ外ノヲトリ来テツレニ比シテ



「テナシニ、即其字面ノ上ニテソノ狀ニナリテアルト云「又如此」ハ外ノ「ニク」ラベル「若此」ハコノ「ノ」ヤウナルト吾心ニテ云ク、此差別ナドハ、記者ノ心ニ幽界ト明界トヲ、分ケテ書クヘシ、若如ノ區別アラマシハ右ノ如シ、學者其ノ用ヒ処ニヨリテ、此意ヲ了シ用ユヘシ

苟ハカリソメニモト譯ス、モシト訓スルモ同義ニテ、カフナシタラハト、彼ニ向テ言聞ス辭也

第十六項同篇

孟子曰、矢人豈不仁於函人哉、矢人惟恐不傷人、函人惟恐傷人、巫匠亦然、故術不可不慎也、孔子曰、里仁為美、擇不處仁焉、得智夫、仁天之尊爵也、人之安宅也、莫之禦而不仁是不智也、不仁不智無禮無義、人役也、人役而恥為役、由弓人而恥為弓、矢人而恥為矢也、如恥之莫如為仁、仁者如射、射者正己而後發、發而不中、不怨勝己者、反求諸己而已矣。

豈ハイヤクト訳シ、カフテアルト云テモ、ドフデカフデハアルマイト云意之、覲シテ其衆ヲ伺ヒ指



ス意味アリ、豈字ハイツニテモ相手ヲトリテ論シ  
 詰ル辞ナリ、下ニ哉字ノアルハツヨク云タメナリ、  
 其他二例ヘハ豈ノ下ニ乎トアレハ、人ニ云カケル  
 一、與ナレハ向フニ委ネルキニ、耶ナレハ疑フトコ  
 ロナリ、**臣**ハ渠ト同シク輕シテ、コレシキノ者トコ  
 ナシテ書フトシ、○於○哉○惟○恐○皆前ニアリ  
 傷ハ疵ヲツケフコネル一**破**トカケハ筋ミチヨリ  
 ヤブレルギギナル之**壞**ハバテくニナリタルヲ云、  
 及**五季之衰而壞**乱極矣大學トアルヲ以テ知ルヘシ

**敗**トナレハ仕クジリタル一ニナルナリ

亦○然○慎○擇前ニ詳カナリ

處ハスワリタルトコロヲサスキニニテ、其場所ニ

ヤスミオラヌ意之**居**ナレハオチツキ井ルヲ云ナリ

禦ハ相手ニナツテフセギトメヨウトモセズシテ、

不仁ナルハト云意之**拒**ハコチラヘヨセツケヌ様

ニスル一ニナル**防**トナレハ、コナタヘ来ヌヤウニ

用心シテ井ル一ナリ

由ハ猶ト全義ニテ、ナオゴトシト兩点ニヨム片ハ、



全シコトジヤト云意味ナリ

如○怨○勝○反○諸○而已○矣○皆前二詳カナリ

第十七項公孫丑下篇

孟子去齊尹士語人曰不識王之不可以為湯武則是不明也識其不可然且至則是于澤也千里而見王不遇故去三宿而後出晝是何滯滯也士則茲不悅高子以告曰夫尹士惡知予哉千里而見王是予所欲也不遇故去豈予所欲哉予不得已也予三宿而出晝於予心猶以為速王庶幾改之王如改諸則必及予

識ハオホエテ井ルヲ引アテ、シルヲニテ、王ヲ湯王武王ノ如クスルヲ出来ヌト云フヲ引アテ、ミテシラスノハ、不明ジヤト云意ナリ  
知ナレハコノ物がコレヂヤト云フガ心ニハイルヲニナル  
二字トモニ幽界ノ字ナリ

至ハナリキツテアルト訊シ、其地位ニイタリキツテアル意ニテ、其不可ハ識テモコ、へ来カ、リタルト云フキミナリ  
到ナレハ今コ、へイタリシト云フ意ナリ  
○于茲悦夫惡哉已前二詳カナリ



庶幾ハソフナリカ、ツテアルグアヒノ所ノ神用  
ヲ云ナリ、一字ツ、分ケテ用ヒテ、コヒネガハクハ  
ト訓スル片モ全様ナリ、幾ノ字チカ、ラント訓シ  
テモ、ヤハリナリカ、ルト譯シ全義之、庶ハナラフ  
トスルト訊ス、**冀**ハドウツソウナレハヨイガソウ  
シタイモノト、コ、ロマチスルキミニナルコ  
如○諸○及前ニ詳カナリ

第十八項 前文ノ續

夫出畫而王不予追也、予然後浩然有歸志、予雖然豈舍

王哉、王由是用爲善、王如用予則豈徒齊民安天下之民  
安、王庶幾改之、予日望之、予豈若是小丈夫然哉、諫於其  
君而不受則怒悻悻然見於其面、去則竊日之力、而後宿  
哉、尹士聞之曰、士誠小人也

夫ハアノト訊スル字ニテ、其事ヲ客ニシ言ノ時夫  
字ヲ冠ラシムルナリ、都テ發端又ハ句頭ニ大字ヲ  
置クハ、先ツ外ノ一ヲ援キ來テ論ヲ設ケオキ、後ニ  
當面ノ一ヲ書出スマヘオキニスルナリ、語尾ノ夫  
ハ我ヨリ彼ニ、明界ヨリ幽界ヘユキテ言ナリ、語頭



ノ夫ハ彼ヨリ我之幽ヨリ明へ取り来ル夫ハ對フ  
トラス唯用ニシ云フノ之訓ニテ分リ易キ様ニ  
區別スレハソレハ發端ノ辞カノハ指ス所ノアル  
トカハ疑ヒノ辞之彼トスレハ我ニ對シテ体ニシ  
テ言フナリ

追ハソノ物ヲオヒカケテユク<sub>ト</sub>之<sub>ト</sub>逐トカケハ其  
物ヲオヒマワス<sub>ト</sub>ニナル

然後○舍○由○徒○庶幾○若○然○哉前ニアリ

第十九項滕文公上篇

滕文公爲世子將之楚過宋而見孟子孟子道性善言必  
稱堯舜孟子自楚反復見孟子孟子曰世子疑吾言乎夫  
道一而已矣成覲謂齊景公曰彼丈夫也我丈夫也吾何  
畏彼哉顏淵曰舜何人也予何人也<sub>有爲者亦若是公明</sub>  
儀曰文王我師也周公豈欺我哉今滕絕長補短將五十  
里也猶可以爲善國書曰若藥不瞑眩厥疾不瘳

將之自反復吾乎而已矣彼我亦若是猶前三詳カナリ  
厥ハソノ物ソノ事ヲ体ニシ云ナリ厥字詩書又ハ  
古文ニハ多クレ凡後世ハ韵文ノ外ハアマリ用ヒ



夫、左傳ニハ占筮ノ辭ニノミ厥字アリ其トカケハ  
 一事一物ヲソレノ方ト指テ用ニシ云フニナル  
 夫ハヒロク彼ヲ包容シテ云フ也夫字前ニ悉シ  
 疾ハ病氣ニヤミ付ク病ハ病氣ノイヨク重リタ  
 ルナリ子疾病子路請禱論語トアリ又病ハ字書ニ疾  
 加ル甚キ也トアルヲ以テモ知レルナリ  
 瘳ハアトノサツパリトシテナオルト愈ナレハ下  
 地カラミテハヨホドヨキヲ云瘳字モ愈ト義全シ

第二十項 滕文公下篇

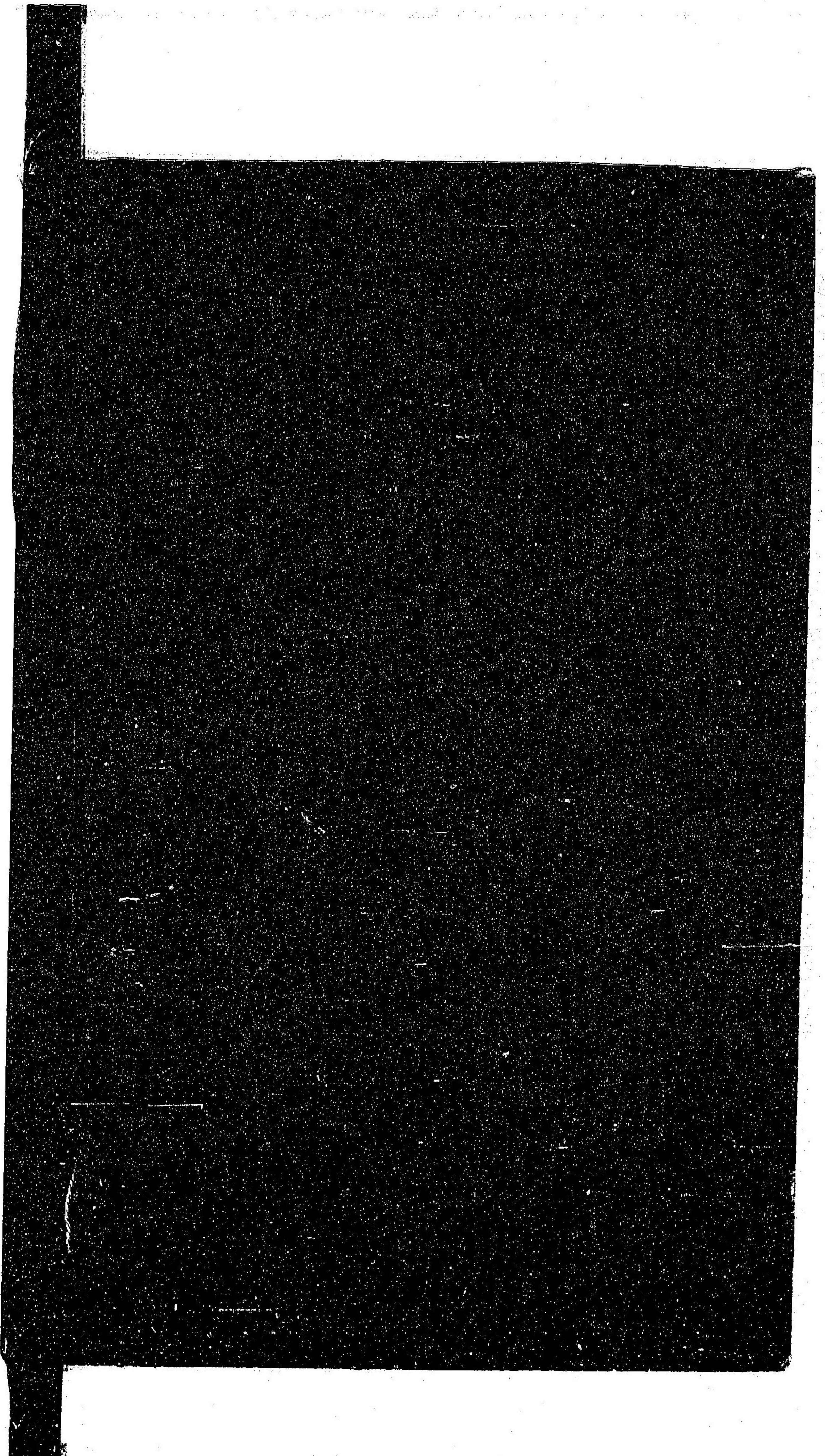
戴盈之曰、什一、去關市之征。今茲未能、請輕之、以待來年、  
 然後已。何如。孟子曰、今有人日攘其鄰之雞者、或告之曰、  
 是非君子之道、曰請損之、月攘一雞、以待來年、然後已、如  
 何、知其非義、斯速已矣、何待來年。  
 今茲ハコトシニテ、茲字ハ二ノバシヨト訳シ、モト  
 簿席ノ稱ナリ、語辭ニ轉用スル時モ、今コ、ニアル  
 ト確カニツナエヲ立テ、言フ、故ニ今字ヲ冠ラセ  
 テユトシトヨムナリ、來茲ト用ユレハ來年ノトニナ  
 ルナリ○請○待○前ニ詳カナリ



攘ハ彼ヨリ来ルモノヲ押領スルニテ、其鄰ノ雞  
 ヲ押領スル之盗トナレハ、他ノモノヲ吾モノニス  
 ルニナル竊トナレハ、ソツト人ノモノヲ取ル  
 ナリ偷ハ人ノ目ヲカスメルナリ

初學漢文作法卷之第二終







初學漢文作法

第貳

特41

177

大日本教育會圖書館

和書門

函架號册  
二六三

082167001-5  
特41-177

初学漢文作法 卷之2, 3  
小高 元張 / 著

M18

DAD- 551

